

当院における糖尿病食事療法について

○食事療法は糖質制限食 (VLCD) を週2回行う間歇法とする

□ □ □ □ □ VLCD による効果 □ □ □ □ □

食後高血糖を防ぐ(インスリンの過剰分泌を防ぎ、膵臓の負担を軽減)
血糖も安定するためインスリンによる低血糖の副反応も少なくなる
体重減少(糖質制限により内臓脂肪の分解が促進、基礎代謝が向上)

○VLCD 間歇法では、ある種の薬物療法で低血糖のリスクが生じるため実施日には服薬をスキップする

○インスリン自己注射の場合は HbA1c の値をコントロールの指標とする

8以下はコントロール良好

インスリン半量

8以上はコントロール不良

インスリン10単位減、就寝前は半量とする
10単位減で半量未満の場合は半量とする

○VLCD は週1回から開始 低血糖発作がなく慣れてきたら、指示により週2, 週3まで回数を増やす

○糖尿病 糖質制限食 食事指導は 管理栄養士鈴木さんに依頼

VLCD 摂取カロリー (500~600 kcal/日)

VLCD 実施日の糖尿病治療薬の調整量については看護師が PT へ説明

管理栄養士へは実施回数と曜日、糖尿病治療薬調整量を記した用紙で連携を図る
同時に低血糖発作時の糖摂取、普段の食事指導も加える

(スルホニル尿素薬)

当院採用 SU 薬

グリミクロン
グリミクロン HA
アマリール

低血糖症状

空腹感 欠伸 悪心
無気力 倦怠感 計算力減退
冷汗 動悸 振戦 顔面蒼白・紅潮
意識消失 異常行動
痙攣 昏睡